



平成30年12月
川越市教育委員会地域教育支援課

学校支援や地域の特色を生かした活動が展開されています

10月から12月にかけて各地区のサポート委員会では、学校支援・地域の特色を生かした活動が展開されています。学校への支援活動としては収穫活動、ミシン学習、昔遊びやロードレース大会の安全確保等が地域の方々の協力のもとに行われ、子どもたちの豊かな成長につながっています。地域の特色を生かした活動では「子どもまつり」等が行われ、子どもが夢中になるような体験活動が多数ありました。

この45号では、各地区の活動の様子をお伝えするとともに、2月に行われます子どもサポート発表会及び子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」についてお知らせします。

第3回川越市子どもサポート本部会議が開催されました

今年度第3回目の川越市地域子どもサポート本部会議が開催されました。

会議では今年度の子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展に応募した作品の審査と「川越子どもサポート発表会」に向けての話し合いを行いました。

今年度は絵画・作文・新聞を合わせて1,378点もの応募があり、この中から小学校低学年、小学校高学年、中学生、それぞれの部門ごとに優秀作品を合計41点を選出しました。

今年度も川越の良さや地域の特色や良さを発見した作品が多くみられました。

なお、この審査で入賞された作品のうち、ベスト見つけ賞（金賞）の9人の発表と表彰は本年度の「川越子どもサポート発表会」の席で行われます。

【川越子どもサポート発表会】

- 日時 平成31年2月9日（土）
9：15受付 9：30開会（11：50閉会）
- 場所 川越西文化会館ホール（川越市鯨井1556-1）
- 内容 ① 子どもサポート活動報告 11地区の活動紹介及び3地区の活動発表
② 子どもサポートコンクール「ベスト見つけ賞（金賞）」の発表・表彰
③ 講評
- その他 ・駐車台数に限りがありますので、公共交通機関（東武東上線霞ヶ関駅から徒歩15分）、自家用車の場合は乗り合わせでのご来場をお願いします。

子どもサポートコンクール 「小江戸見つけ隊」作品展のお知らせ

今年度も市内小・中学校の児童・生徒が自分たちの町である川越や、住んでいる地域のすばらしさ及び地域の方々のふれあいを通して感じたことなどを作文・絵画・新聞に表現してくれました。3つの部門で応募のあった全作品を下記により展示いたします。

- 期日 平成31年2月20日（水）～24日（日）
- 時間 9：00～17：00
（24日のみ15：00までですので14：30までの入場をお願いします。）
- 会場 川越市立美術館
市民ギャラリーと2階アートホール（川越市郭町2-30-1）

なお、この展示会とは別に、入賞作品（41点）の展示を次の日程で行います。

○川越子どもサポート発表会会場ロビー（川越西文化会館/川越市鯨井1556-1）
平成31年2月9日（土） 9：30～14：00

なお、2月9日は入賞作品41点のみの展示となりますので、お間違えの無いようにご注意ください。

学校応援団活動

学校応援団活動（学校教育を支援し、子どもたちを育てる）

中央北地区 持久走大会での安全見守り

11月21日（水）月越小学校の全校持久走大会で、学校の近くの道路を走る児童の安全見守りを行いました。学年によってコースが異なるため、地図を持って保護者の方々と確認しながら見守りました。



中央南地区 小中学校で、ミシン学習、調理支援

大塚小学校、泉小学校、野田中学校でミシン学習の支援が始まりました。各グループに1名以上のサポート委員が入り、糸のからまりや針の付け方等々の補助をしました。子どもたちは、「よくわかった」と言いながら制作に集中していました。また、城南中学校では調理実習の支援を5回行い、家庭科の学習が安全にかつ効率的に行われるようお手伝いをしました。



霞ヶ関地区 生活科「町たんけん」の見守り

11月16日（金）霞ヶ関小学校で、2年生の生活科学習で、町たんけんに出かけました。春に行ったお店や施設の中からさらに詳しく調べました。グループごとにサポート委員と保護者の方が付き添い、インタビューをしてきました。行き帰りに交通量の多い道路をとるので、安全に学校に戻ることができてほっとしました。



各地区の特色を生かした活動の様子

子どものお祭りやフェスティバル、収穫祭

霞ヶ関北地区 「子どもフェスティバル」を開催

11月17日（土）、霞ヶ関北小学校を会場に「子どもフェスティバル」が開催されました。体育館、特別教室、運動場、伊勢原公民館等を会場に楽しい体験をすることができました。オープニングセレモニーで、和太鼓やフォークダンスグループのパフォーマンスで、大いに盛り上がりました。



山田地区 収穫したお米をかまどで炊いて「収穫祭」

11月8日（木）、山田中学校において1年生の「収穫祭」が、サポート委員やPTA等の協力のもと行われました。9月に収穫したお米をかまどで炊いておにぎりをつくり、学校ファームで収穫した野菜で味噌汁をつくりました。自治会長さんも参加してくださいました。



福原地区 「ふくはらこどもまつり」を開催

11月10日（土）、「ふくはらまつり」の一環として、「こどもまつり」が開催されました。小学校1・2年生はさつま芋堀り、3年生以上は小学校の運動場で、グラウンドゴルフを実施しました。大勢の子どもたちが参加して、最後に地域でとれた野菜がたっぷり入った芋煮をいただきました。



大東地区 多彩な体験「子どもフェスティバル2018」

11月4日（日）、サポート委員会主催の「子どもフェスティバル」が大東市民センターを会場に開催されました。バレーンアートや囲碁将棋体験、茶道体験や車いす体験等々、さらに小中学校の吹奏楽の演奏と、盛りだくさんの内容は参加者に好評でした。初めての体験に緊張しながらも子どもたちは、目を輝かせて活動をしていました。



霞ヶ関地区 「かすみ子どもまつり」で楽しくもちつき

10月28日（日）、霞ヶ関公民館で「第30回かすみ子どもまつり」が、開催されました。サポート委員会の方々の指導のもとに、子どもたちは杵を使ってのもちつきを体験し、その後おいしくいただくことができました。

また、創作ダンスの発表、ジャンボ紙芝居、ミニ布ぞうり作りもあり、参加者は年々増えています。霞ヶ関小学校運動場での少年野球チームによるストラックアウトも大人気です。



名細地区 心をこめて育てた「さつま芋収穫祭」

10月28日（日）に平塚新田にある「けやきの郷」で、11月4日（日）に鯨井地区の畑で、さつま芋の収穫をしました。

名細地区の家族の皆さんが草取りや「蔓返し」をして大切に育てたさつま芋を、おいしく食べることができました。



芳野地区 公民館まつりに参加

11月10日（土）の芳野公民館まつりに、子どもサポート委員会も参加し、ゲーム・スタンプラリーを行いました。晴天に恵まれ、例年以上の参加者でにぎわいました。6つのゲームをすべて回ったら記念品をもらい、子どもたちは楽しそうに活動していました。



古谷地区 「土曜日学級はらっぱ」の閉講式

12月8日（土）の「はらっぱ」の閉講式では、カレーづくりをしました。教えてくださったのは、公民館登録グループである「成美会」の方々です。大きな鍋いっぱい具だくさんのカレーを作りました。付け合わせのらっきょうや福神漬もたくさん用意してもらいました。食後、「はらっぱの閉講式」を行い全7回の講座を修了しました。



川鶴地区 PTAとの共催で「子サポ祭り」

12月1日（土）、川越西小学校PTAと共催の「子サポ祭り」が川越西中学校を会場に開催されました。中学校吹奏楽部による演奏、卓球部による卓球体験、PTAによるストラックアウトや射的のレクリエーション、おやじの会による焼き芋等々、楽しい体験や交流ができました。また、地区民児協と中学生とで作ってくれたとん汁とアルファ米もいただきながら楽しいお祭りになりました。



中央地区 子どもも大人も楽しんだ地域めぐり

12月8日（土）新規事業の「わがまち小江戸川越の民話を楽しもう！」が、晴天の下行われました。3つのグループに分かれた小学生が川越の民話の残る場所に行き、その場所でシルバー人材センターの方々から、民話を聞かせてもらいます。浮島神社、喜多院、蓮馨寺、出世稲荷、八幡神社の5か所をローテーションします。観光客の多い中、参加した大人も子どもも今まで知らなかった地元の話にうなづきながら聞き入っていました。

